製品区分: 11.その他

管 理 番 号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	情報通知者受付年月日
2007-2756 2007/01/29	高気圧エアーチェンバー	酸素カプセルの体験会で、被害者の 入ったカプセル内の気圧を加圧したと ころ、右耳の鼓膜に負荷がかかり、右 外傷性鼓膜穿孔となった。	事故品を操作していたリラクゼーションサロンの担当者が、被害者に対して、加圧中の耳抜きの必要性を十分説明しなかったため、被害者が不調を訴えず加圧を続けて、鼓膜を損傷したものと推定される。なお、取扱説明書には、「耳抜きできない場合は使用しないこと、鼓膜を損傷する恐れがある。」旨記載がある。	購入事業者の説明不足による事故であるため、 措置はとらなかった。 なお、販売事業者や購入事業者に販売する際は、研修指導(座学、実技講習、ペーパーテスト) が実施されている。	消費者センター
(事故発生地) 東京都	使用期間:不 明	(軽傷)	(D1)		(受付:2007/08/07)